

プレスリリース

Web サイト: www.nordicsemi.com

ワイヤレスジャパン 2013 のプレビュー: 2.4GHz の超低消費電力版 Bluetooth low energy 対応 RF モジュール、ANT 対応トランシーバ、リファレンス設計、デモンストレーション

Nordic Semiconductor、日本国内の主要5社より提供の nRF51822 SoC 搭載 RF モジュールを ワイヤレスジャパンで発表

～Bluetooth Smart の開発作業の簡素化／迅速化を可能に～

Nordic Semiconductor は、ワイヤレスジャパン 2013 に出展し、ODM および無線モジュール企業として日本を代表する Braveridge、富士通コンポーネント、ホシデン、SMK、太陽誘電の各社が開発した RF モジュールを展示いたします。各社の RF モジュールは、Nordic の検証・認証済み Bluetooth low energy 対応 Soft Device を搭載し無線認証が取得されており、RF の専門知識がほとんどない開発者にも、Bluetooth Smart アプリケーションの開発を安全かつ短期間に実現する画期的なソリューションを提供します。

2013 年 5 月 29 日、東京発 — 超低消費電力 (ULP) RF のスペシャリストである Nordic Semiconductor ASA (OSE:NOD) は本日、ワイヤレスジャパン 2013 (場所: 東京国際展示場、会期: 2013 年 5 月 29 日～31 日) において製造パートナー各社と共同出展する、Bluetooth® low energy および ANT+™ 対応の無線接続ソリューションの詳細を発表しました。Nordic Semiconductor ブース: L-11 (東京ビッグサイト 西 4 ホール)

Nordic ブースの目玉となるのは、ODM 企業および無線モジュール企業として日本を代表する株式会社 Braveridge、富士通コンポーネント株式会社、ホシデン株式会社、SMK 株式会社、太陽誘電株式会社の各社が開発した RF モジュールの展示です。各社のモジュールのベースとなるのは、Nordic が自社開発した Bluetooth low energy/2.4GHz 対応システム・オン・チップ (SoC) の [nRF51822](#) であり、Nordic の検証・認証済み Bluetooth low energy 対応プロトコル・スタックである “Soft Device” とともに提供されます。これらの認証付モジュールでは、1 チップでありながら RF プロトコル・スタックとアプリケーション層とが独立している為、プロトコル破壊の心配が無いアプリケーションの開発・統合を可能にし、開発者での新たな認証取得が不要な為、自由なアプリケーションを “短時間で安全に” 開発することを可能にします。

Nordic Semiconductor の日本担当カントリー・マネージャー、山崎 光男は次のように述べています。「今回の展示では、nRF51 シリーズをベースとする RF モジュールなど、Bluetooth low energy や ANT 対応のデバイスが、アプリ/サービス主導型のビジネスモデルにいかにか柔軟に対応できるかをご覧いただきたいと思います。企業各社は、試験・認証済みの Bluetooth low energy 対応『Soft Device』スタックを備えた、サードパーティ製の RF モジュールを採用し、自社開発のソフトウェア・プロファイルとアプリケーションコードを追加することで『アップセサリー』を開発し、iOS や Android のスマートフォンにシームレスに連携できます。さらに、本 RF モジュールの提供開始により、リソースの限られた多くの新興企業や新たな “Makers” も、RF やエレクトロニクス・ハードウェアに関するこれまでの経験を必要とすることなく、この市場に参入できるようになります。」

Nordic のシリコン・ソリューション、リファレンスデザイン、サンプル・アプリケーションを使用することにより、理想的な形で開発作業を開始できます。また、開発済みのデザインフレームワークも用意されており、アクセサリーと連動する Bluetooth Smart/ANT+ 対応アプリケーション (=「アップセサリー」) を短期間で開発できます。これらのアップセサリーは、幅広いスマートフォンやタブレット PC に対応する、高信頼性の無線接続を活用しており、今回の Nordic ブースの主要テーマとなっています。

このほか Nordic ブースでは、心拍計モニター、近接センサ、スマートフォンによる遠隔制御玩具、フィットネス・モニター、リモート DSLR カメラ・シャッターなど、Bluetooth low energy/ANT 対応のアプリケーションを幅広く紹介します。

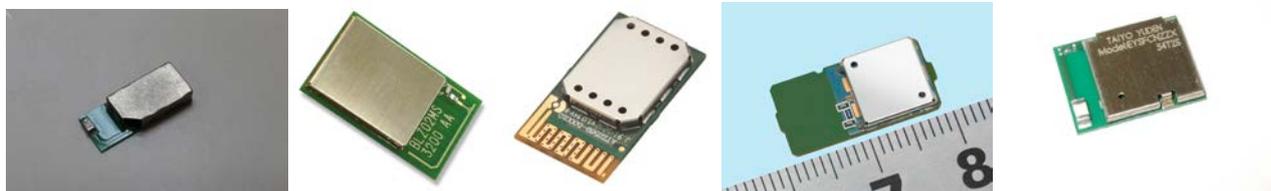
RF モジュールと製造パートナーの製品は、*Bluetooth low energy*/ANT のマルチプロトコル対応 SoC である Nordic の nRF51 シリーズをベースとしています。nRF51 シリーズ SoC のアーキテクチャは、平均消費電流を最小限に抑えつつ、広範なワイヤレスアプリケーションをシングルチップで実装できることを主眼に置いて設計されています。

Nordic Semiconductor の日本担当カントリー・マネージャー、山崎 光男はまた次のように述べています。「過酷な国際競争によって、日本のエレクトロニクス業界の性質も変わりつつあります。しかし、過去にこれほどの成功を収めてきた日本のエレクトロニクス業界が、この国際競争で簡単に負けを認めることはありません。国内企業各社は、エンジニアリング・ノウハウと革新的な思考に力を注ぐことで、確かな未来を手中に収めようと計画しています。」

「当社の相互運用性のあるクラス最高の 2.4GHz 無線接続ソリューション群をご紹介し、各社のこうした果敢な戦略をサポートできるという意味で、ワイヤレスジャパンは Nordic Semiconductor にとってまたとない機会です。日本のパートナー各社の開発した RF モジュールは、当社のこうしたサポートを裏付ける特筆すべき事例であり、出荷前に RF の試験・認証が済んでいることから、開発者は、無線対応製品の主要な差別化要因であるアプリケーションコードのみに専念することができます。今回のようなアプローチは、競合のデバイスでは実現しえないものであり、専門知識の乏しい RF 設計者にとっては、高収益市場として急成長中の ULP 無線市場を対象とした、*Bluetooth Smart* 対応のアプリケーションの開発作業が以前と比べて大幅に簡単なものとなります。」

Nordic Semiconductor は、10 年以上にわたって、ANT RF プロトコル・ソフトウェアと ANT+マネージド・ネットワークの ANT Wireless(本社:カナダ・コクラン)と提携しています([Nordic ANT の無線接続について](#))。ANT のチップは、世界 6,000 万以上の無線ノードで使用されています。

大手メーカー各社の提供する最新のスマートフォンでは、*Bluetooth v4.0*(品質証明要素としての *Bluetooth low energy* を含む)または ANT+に対応したチップとソフトウェアが採用されており、*Bluetooth Smart* 機器や ANT+の周辺機器との通信が可能です。この機能は、ハンドセット・アクセサリ、スポーツ&フィットネス・モニター、玩具など、コイン電池駆動の小型無線接続製品の部門で、多くの新たな機会を約束するものです([詳細はこちらをご覧ください](#))。



画像: 無線モジュール企業各社が開発した *Bluetooth low energy* 対応 RF モジュール

nRF51822 について
tinyurl.com/nRF51822 (英語サイト)

nRF51 Series について
tinyurl.com/nRF51 (英語サイト)

Nordic ANT の無線接続について(英語サイト)
tinyurl.com/NordicANT

Bluetooth low energy*, *Bluetooth Smart*, *Bluetooth Smart Ready について(英語サイト)
tinyurl.com/BluetoothLE

Nordic Semiconductor ASA について(英語サイト)
tinyurl.com/NordicSemi

【本リリースに関する報道関係からのお問い合わせは下記にお願いいたします】

Nordic Semiconductor PR エージェンシー(日本国内)

株式会社ブラッド・スウェット アンド ビアーズ

早田 真由美 (ハヤタ マユミ)

TEL: 03-6809-2301

E-mail: hayata@bsbeers.com

本社お問い合わせ(ノルウェー)

Marketing contact: Anne Strand

TEL: +47 22 51 10 62

Fax: +47 22 51 10 99

E-mail: Anne.Strand@nordicsemi.no

Website: www.nordicsemi.com